14 ネイチャービンゴ

自然の中にあるものを集めてビンゴゲームをします。

- 「見る」「聞く」「かぐ」「味わう」「さわる」の五感をはたらかせて自然の中にあるものを見つけ、ビンゴを完成させていきます。
- 楽しみながら自然を感じ、新たな発見ができる活動です。
- 16 マスと 25 マスの２種類のカードがあります。

ネイチャービンゴカード　25ます

名前

今日のスペシャル	いいにおいの葉	とげがたくさんついている木	赤い実	手のひらより大きな葉
虫の食べたあとがある葉	たまご	鳥の声	どうぶつのふん	木の実
たね	黄色い花	びっくりしたもの	かさかさ音がなるもの	鳥の羽
木に巻き付いているツル	ふわふわしているもの	小さい虫	つるつるの葉	風の音
松ぼっくり	ぬけがら	むらさき色のもの	くものす	木のみつ

時　期	通　年 （積雪時不可）	**所要時間**	１６マスコース： ３０分～１時間 ２５マスコース： １時間半～２時間	**活動場所**	自然の家周辺
対　象	小学生以上 （大人同伴であれば幼児でも可）	**人　数**	制限なし　グループで行う場合は１グループ３～４人		

準備物	**自然の家で貸し出すもの**	**団体や個人で準備するもの**
	□　ビンゴカード □　記録用のバインダー □　看板「この先進めません」見本	□　筆記用具 □　腕時計があるとよい

活動の手順

活動の実際

1　活動の説明

(1)　ネイチャービンゴの楽しさやねらい

(2)　ゲーム方法

- ビンゴカードの各マスには見つけるものが書いてある。
- 森の遊歩道を歩いてビンゴカードに書いてあるものを見つける。
- 縦・横・斜めがそろうとビンゴになる。
- １列だけでなく、できるだけたくさんのビンゴを作る。
- 誰か１人が見つけたら、必ずグループの友達に教えたり話し合ったりする。
- 手のマークが付いているものは、見つかったら持ってくる。その他のものは、どこで、どんなものがあったのかをよくおぼえて来る。

(3)　注意事項

- 自然を大切にし、必要以上のものは採集しない。
- グループで一緒に行動する。
- ウルシ、ツタウルシに気を付け、遊歩道を歩く。

※遊歩道以外の場所を通るとウルシに触れてしまうことがある。

※実物を見せて確認するとよい。

2　集合時刻を確認する。

3　グループごとに見つけに行く。

4　時間になったら集合し、発表会を行う。

- 持ってきたものはテーマごとに並べて発表するとお互いのものが比較でき、新たな発見ができる。
- 「びっくりしたもの」では、発見の感動を伝え合う。

備　考

1　正解がありませんので、時間を競ったり見つけた数で順位を決めたりすることはありません。

2　ビンゴカードは団体で自作してもかまいません。学習内容と関連させたり、季節に合わせたものを考えたりするのも楽しいでしょう。